

川崎市における保育の質 修正内容

	2月27日（月）質問・意見骨子	修正内容又は修正案
本文 表紙	冊子の名称を変更したほうが良い。	川崎市「保育の質ガイドブック」とする。（p 3 文章内も修正）
p 1	中段 対象施設が不明確。	対象となる市内全施設を記述した。
p 2	保育者と子どもの関係の質を示すにあたり “自己肯定感や基本的信頼関係を育む” という文言を明記した方が良い。	“自己肯定感や基本的信頼関係を育んでいきます。”を追記した。
p 2	1番下の行 “応答的な関わりの重要性”を入れた方が良い。	“応答的に関わっていくことが重要です。”を追記。
p 5	要録送付の際、保護者への周知の必要性を確認する。	保育所児童保育要録のみに該当するため、文章を修正した。
一覧表 p 1 3	一覧表がステップ毎になっていることの説明補足が必要	P 1 3 の四角囲い中に補足説明を記述した。
p 1 4		中段の園内研修のステップは一覧表のステップと紛らわしい為プロセスと名称を変更する。
p 1 5	ステップ毎の表現が分かりにくい部分がある。	s t p 1 ～ s t p 3 で順次内容を高めていけるよう再度確認し修正した。
p 1 6 ～ p 1 7	養護と教育の着眼点毎にみて重複感が感じられる。 人間関係の着眼点は、応答的な学び、個と集団の学びを入れる必要がある。教育については人生の土台として幼児期にどう育てるか、職員との関係が良く良くなったら子どもはどうなるのか等を入れると良い。	再度見直し、養護と教育が混在して示している点について下線部を修正した。 教育の5領域の着眼点の s t p 3 に、個から集団への学びを意識して保育者がどのように関わるのが大切かを示した。 今後事例集を作成し、保育内容等の研修で使用していく。
p 2 5		⑥職員の資質向上の着眼点のOJT、OFF-JT について段階の示し方を修正した。